

# 平成22年度当初予算の要求状況について

## 《「健康・医療・福祉都市構想」の実現に向けて》

現在、市では平成22年度当初予算の編成作業中ですが、現段階での各部から提出された予算要求の概要をお知らせします。

### 1 予算要求の総額

一般会計予算要求総額 約190億4,500万円  
(対前年度比16.4%増)

平成22年度当初予算要求額は、平成21年度当初予算額163億6,700万円に対し、26億7,800万円の増となっています。その増加分のうち、子ども手当に要する経費15億6,000万円が58%を占めています。

#### 増額の主なもの（平成21年度当初予算比）

- ・ 子ども手当に要する経費 約15億6,000万円
- ・ 小学校耐震補強に要する経費 約6億2,700万円
- ・ 後期高齢者医療事務に要する経費 約6,300万円

※ 各部局ごとの要求状況及び主な事業は、次のページのとおりです。

### 2 今後の取り組み

各部から提出された予算要求では、市長が示した平成22年度予算編成方針に基づき、積極的に政策・課題に取り組むため、歳出が増加しています。しかしながら、歳入に目を向けると、景気が低迷している昨今の状況から、来年度においても税収の減少が見込まれるなど厳しい状況にあります。

このような状況を踏まえ、今後の予算編成では各事業を精査し、歳出の抑制を図ることが必要となります。また、目先の予算ではなく志木市の将来を見据えた予算編成を行い、「健康・医療・福祉都市構想」～安心・安全に生活できる街～の実現に向けて取り組んでいきます。

### 3 予算編成のスケジュール

- ・ 10月23日 予算編成方針の通知
- ・ 11月 4日 予算要求調書の提出
- ・ 1月 中旬 市長審査
- ・ 2月 下旬 市議会へ予算案上程

## 【 部 局 別 要 求 状 況 】

※金額は、百万円未満を四捨五入しています。そのため合計が合わない場合があります。

部局名	平成22年度 要 求 額	平成21年度 予 算 額	増減額	主な事業【事業名 要求額】
企画部	39億8,900万円	40億4,900万円	▲6,000万円	基幹系システムに要する経費 【1億7,400万円】 広報紙発行等に要する経費 【1,800万円】 法規事務に要する経費 【1,100万円】
総務部	19億9,600万円	20億3,800万円	▲4,200万円	借入金償還(元金)に要する経費 【13億8,200万円】 市民税賦課に要する経費 【5,000万円】 文書事務に要する経費 【4,000万円】
市民生活部	19億3,500万円	17億6,000万円	1億7,500万円	県南西部広域消防に要する経費 【7億1,500万円】 塵芥収集及び処理に要する経費 【6億6,300万円】 市民会館運営に要する経費 【6,500万円】
健康福祉部	71億1,600万円	52億9,300万円	18億2,300万円	子ども手当に要する経費 【15億6,000万円】 後期高齢者医療事務に要する経費 【4億5,500万円】 障がい者自立支援給付等に要する経費 【4億4,900万円】
都市整備部	22億8,800万円	15億5,100万円	7億3,700万円	下水道事業繰出金 【8億3,000万円】 小学校耐震補強に要する経費 【6億8,100万円】 放置自転車対策に要する経費 【6,100万円】
教育政策部	15億2,800万円	14億6,700万円	6,100万円	給食管理に要する経費(小学校) 【1億8,300万円】 小学校運営に要する経費 【1億4,600万円】 中学校運営に要する経費 【7,200万円】
行政委員会等	1億9,300万円	2億900万円	▲1,600万円	議員の報酬等に要する経費 【1億600万円】 出納事務に要する経費 【1,600万円】
合計	190億4,500万円	163億6,700万円	26億7,800万円	